

令和5年度 新潟市巻ふれあい福祉センター管理運営事業収支決算書

収 入

単位:円

勘 定 科 目		予算額	決算額	差 額
大	中			
受託金収入		15,527,000	15,619,200	△92,200
	市受託金収入	15,527,000	15,619,200	△92,200
経常収入計(1)		15,527,000	15,619,200	△92,200

支 出

勘 定 科 目		予算額	決算額	差 額
大	中			
人件費支出		1,765,000	1,781,582	△ 16,582
	賃 金	1,759,000	1,776,198	△ 17,198
	法定福利費	6,000	5,384	616
事務費支出		0	0	0
	福利厚生費	0	0	0
事業費支出		13,762,000	13,837,618	△ 75,618
	被服費	0	0	0
	水道光熱水費	5,504,000	5,628,632	△ 124,632
	燃料費	2,000	0	2,000
	消耗器具備品費	416,000	189,083	226,917
	賃借料	167,000	166,572	428
	印刷製本費	60,000	44,000	16,000
	修繕費	200,000	259,930	△ 59,930
	通信運搬費	238,000	200,601	37,399
	業務委託費	5,756,000	5,768,360	△ 12,360
	手数料	19,000	27,500	△ 8,500
	租税公課	171,000	172,660	△ 1,660
	保守料	1,229,000	1,380,280	△ 151,280
経常支出計(2)		15,527,000	15,619,200	△ 92,200
経常活動収支差額(1)-(2)		0	0	0

上記、令和5年度 新潟市巻ふれあい福祉センター管理運営事業収支決算書に相違ありません。

令和 6年 3 月31日

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
会 長 井 浦 正 弘

令和5年度 自主事業報告書（施設名：巻ふれあい福祉センター）

事業名	障がい者生きがい活動支援事業
<p>【視覚障がい者パソコン教室】</p> <p>(1) 実施状況(実施日時・利用人数等) 令和5年4月～令和5年12月 毎月第2・4 木曜日 午前9:45～11:45 4/13・4/27・5/11・5/25・6/8・6/22・7/13・7/27・8/10・8/24・9/14・9/25・ 10/12・10/26・11/9・11/30・12/14・12/21 合計18回 （視覚障がい者・ボランティア・新潟大学学生等が参加） 総参加者数 280名</p> <p>(2)実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者の情報交換の場 ・音声パソコンの技術習得 ・小、中学校等への福祉教育講師 <p>(3) 利用者の反応・満足度と今後の対応</p> <p>視覚障がい者の交流の場として集う場所があることで、毎回楽しみにしている声が多く、出かける機会が増えることで生きがいを感じ、自立支援に繋がっている。</p> <p>また、地域の方、新潟大学学生がボランティアとして参加している為、世代を超えた交流となっている。</p> <p>さらに、視覚障がい者の情報収集のツールの一つである音声パソコンの技術を高めることで、必要な情報を得る手段が格段と広がっている。</p> <p>また今年度はコロナ明けで、総合学習の依頼も増え、ゲストティーチャーとして12の小学校を訪問。「普段の生活から皆さんに伝えたいこと」をテーマとした講話、歩行誘導体験などを行った。</p> <p>今後も本事業を続けていきたいと思っている。</p>	
<p>【にしかん・障がい者作品展】</p> <p>(1) 実施状況(実施日時・利用人数等) 令和6年2月2日(金)～3月15日(金) 8:30～17:15 43日間 総参加者数 1,500名</p> <p>(2)実施内容</p> <p>西蒲区内の障がい者施設で制作された作品を巻ふれあい福祉センターに展示し、センターを訪れる多くの市民に見て触れて知っていただくことで、多様性の受け入れや、地域共生社会の実現に向けた取組みの理解につなげることを目的として、今年で4回目となる「にしかん・障がい者作品展」を開催した。</p>	

(3) 利用者の反応・満足度と今後の対応

各施設から作品を持ち込んでいただき、施設の職員やボランティア市民活動センター運営委員、福祉活動応援協力員にお手伝いいただき、展示作業を行った。

普段は福祉関係者しか訪れることのない巻ふれあい福祉センターだが、毎年この時期は確定申告の会場となっているため、手続きに来られた多くの方々が足を止めて作品を鑑賞して下さった。

またコロナが明けても、行事等の復活はまだ追いつかず、利用者の作品を披露できる場がないことから、施設職員や利用者のモチベーションの向上に繋がっていると考えられる。

(4) 収支決算

支出	消耗品費	3,828 円
----	------	---------

	<u>合計</u>	3,828 円
--	-----------	---------